

株式会社アイティフォー
機関投資家・アナリスト向け2020年3月期決算説明オンデマンド配信
主な質疑応答

Q1. 受注高の伸びが小さいですが、今後はどのようになるのでしょうか？

クラウドベースで売上高の伸びよりも受注高が伸びるという理解でしたが、今後の見通しを教えてください。

⇒ 2020年3月期の受注高が前期に比べ2.2%減となった主な要因は、前期下期以降の改元および消費税率改正等の法対応特需が一段落したことによります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業における対面での営業活動自粛やテレワーク導入に伴う当社の受注活動への影響については、現時点で軽微にとどまっております。

一方、今回のコロナ・ショックにより新たな生活・行動様式が求められる中、社会におけるITの果たす役割は一段と大きくなっており、企業のIT投資の継続意欲は根強いと考えております。

したがって、2021年3月期につきましては新型コロナウイルス第2波感染の懸念等、不確定要素があるものの今後も安定的な受注高の伸びを見込んでおります。

Q2. 一時的に平準化の動きの中で前期比の受注高の伸びが低下していますが、今後1年ぐらいたてば、売上高と受注高の伸びが同様なトレンドになっていくという理解でよろしいでしょうか？

⇒ 受注の平準化については、案件の規模や社会情勢等の影響を受けるため、今後もその動きが続くかどうか注視してまいります。

現在の事業構造において、受注高、売上高それぞれのトレンドは大きく変化しないと考えております。

Q3. 売上総利益率は、より効率的な受注をこなす体制が長期的に対応できれば元に戻ると考えてよろしいでしょうか？

⇒ 売上総利益率の低下につきましては、2020年3月期第3四半期が底とみております。

2020年3月期は、改元、消費税率の改正、軽減税率対策といった短納期の法対応案件が増加したこと等により、外注費が増加、戦略的な受注案件の獲得等により一時的に売上総利益率が低下しました。今後は適切な原価管理、品質管理の強化等の対応により、2019年3月期の水準並みに戻していきたいと考えております。

Q4. 次期中計はいつごろ発表の予定でしょうか？

- ⇒ 第2次中期経営計画は、2018年5月18日にプレスリリースを行いました。
2022年3月期からスタートする中期経営計画につきましても同様のスケジュールを予定しております。

【注意事項】

本資料に記載の内容は、フェア・ディスクロージャー・ルールの観点から、(株)アイティフォー 機関投資家・アナリスト向け2020年3月期決算説明オンデマンド配信での質問事項をもとに、当社の文責により趣旨を要約（順序不同・補足・補正）したものです。その情報の正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更される可能性があります。

なお、本資料に記載されている業績見通しや将来予測などに関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また実際の業績は経済情勢等、様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。